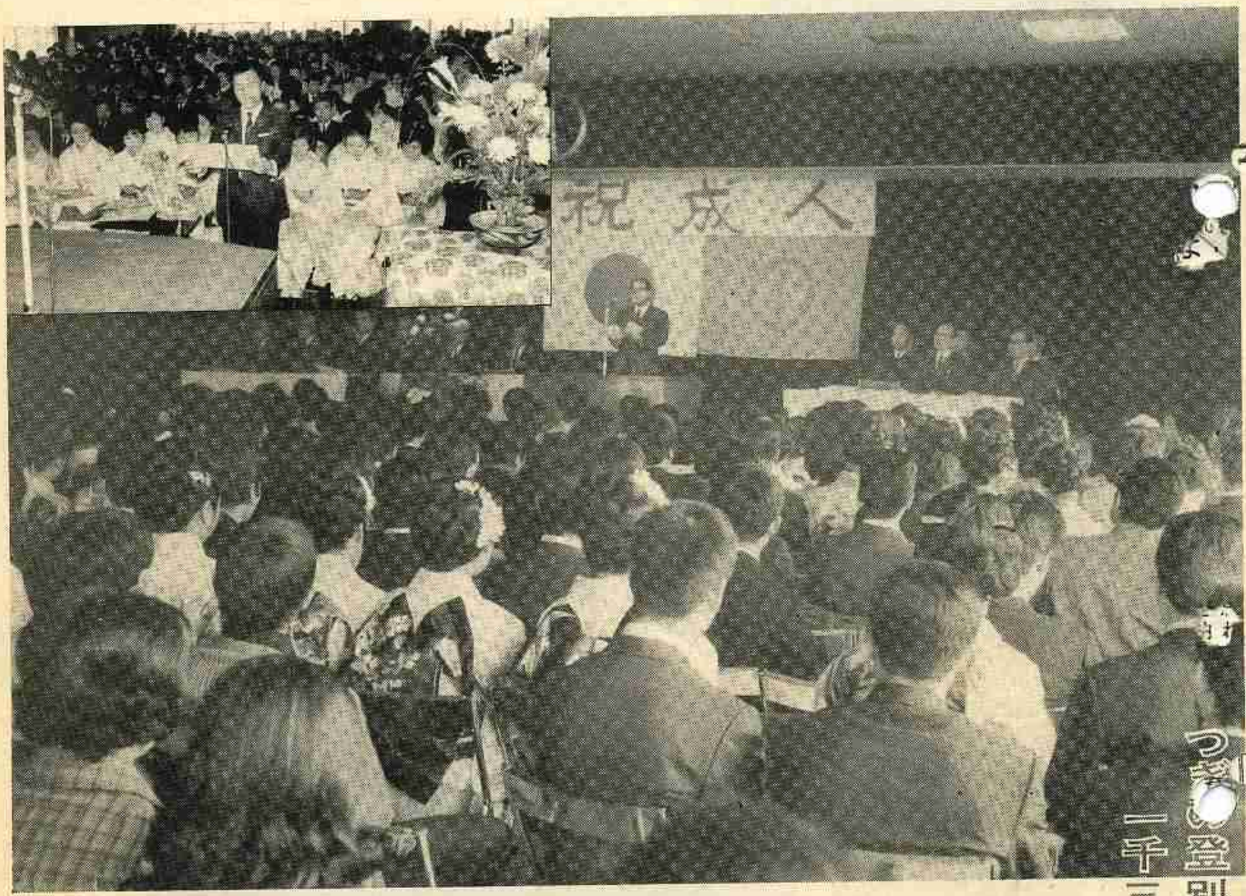
発行　登別町役場　印刷　道南精版印刷株式会社

広報 のぼりべつ



つぎの登別をになう若人
一千三十三名が晴れの成人に

ことしの成人式は、一月十五日午前十時三十分から中央公民館でおこなわれました。
今年成人になったかたは、男五百三名、女五百三十名で、昨年より二百一名がふえました。

この日は、約七百余名が出席して成人式がおこなわれ、まず、柳沼教育長の式辞があり、つづいて高田町長、河野副議長から祝辞がのべられました。このあと、昨年開記百年を記念して制定した町民憲章を、六人の代表が、「わたしたちは、古い歴史と美しい自然に恵まれた登別の町民です。ここにわたしたちの心がまえを定めて、よりよいまちをつくることに努めます。一、心身をきたえよく働いて活気あふれる豊かなまちをつくりましょう。一、親切をつくしきまりを守って、明るく住みよいまちをつくりましょう。一、自然を愛し力をあわせて、緑と空気と太陽のいっぱいあるきれいなまちをつくりましょう。一、未来をつくる青少年の、健全な夢の育つまちをつくりましょう。一、教養をつみ視野を広げて、平和で文化のかおり高いまちをつくりましょう。」と力強く発表し、また、新成人を代表して、遠藤正二さん（鷲別機関区）から答辞があって式を終えました。

会場の新成人となった男女青年の表情は、次の登別町を背負う決意と喜びでいっぱいでした。

このあと、成人祭としてグループデスカッション、フォークダンス、ゲームなどをして、楽しい一日を過ごしました。

（中央公民館でおこなわれた成人式と答辞をのべる遠藤正二さん）

生活の不安をなくするため
交通傷害保険に

新規加入　既加入　は三月中に手続きを

町内における交通事故は、日増しに増加しています。

四十一年に町内で起きた事故は九十五件で、死傷者は百三十名となっていましたが、四十二年は百十件で百五十九名、四十三年は百六十八件で二百七十一名と年々増えており、二日に一件の事故と百六十二名に一人の割で死傷者が発生していることになっています。

このように激増する交通事故をなくするための安全対策は勿論必要ですが、万が一の場合を考え、昨年四月、被災者に対する保護対策として実施した、町民交通傷害保険に加入し、生活の不安を少なくする必要があります。

すでに、この保険に加入しているかたは、三月三十一日で保険の契約期間が切れます（四月以降に事故で死傷しても、保険金はもらえません）ので、三月中に役場交通安全係か最寄りの支所で、更新の手続きをしてください。

また、はじめて加入されるかたも三月一日より常時受け付けしておりますので、三月中に加入手続きをすませ、四月一日から適用を受けるようにしましょう。

この保険制度の内容は次のとおりです。

加入できるかた

登別町内に居住しているかたは、誰でも加入できます。

加入料金（保険料）

申込みと同時に一人三百六十円（一年間分）を役場または最寄りの支所に納めてください。中途加入者は五百円割（一ヵ月三十円）で計算し、加入の月から翌年の三月までの分を納めてください。

保険期間（有資格者期間）

四十四年四月一日から四十五年三月三十一日までです。この間に町外へ転出した人も資格はあります。

支払われる保険金

◇死亡したとき　五十万円
◇けがをして治療を受けたとき
・治療期間六ヵ月以上　十万円
・〃　三ヵ月以上六ヵ月未満　五万円
・〃　一ヵ月以上三ヵ月未満　二万円
・〃　一週間以上一ヵ月未満　五千円
・〃　一週間未満　二千円

保険金の支払われる事故

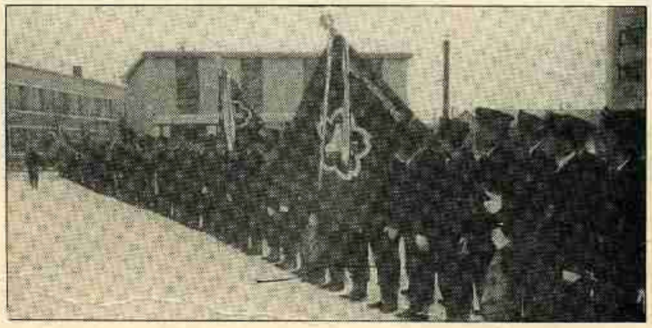
車輌（自動車、原動機付自転車軽車輌、トロリーバス）による「交通事故」で傷害または、死亡した場合に支払われます。しかし、加入者が無免許で運転しているときの事故および自殺的行為による事故は、その運転者および自殺者には、保険金が支払われません。

事故が起きたとき

交通事故証明書（警察署で証明と医師の診断書（用紙は役場と各支所に備付）をそえて、役場交通安全係か最寄りの各支所で、保険金の請求手続きをしてください。

その他詳しいことは、役場住民課交通安全係（幌別二、一一一番にお問合せください。

百五十名が堂々と市中行進
消防出初め式



恒例の消防出ぞめ式が、一月七日中央公民館前でおこなわれました。

この日は、約百五十名の消防職団員が幌別西口駅前に集合したあと十字街を通り会場まで堂々と市中パレードをおこないました。

午前九時より出ぞめ式に入り、人員報告、閲団があったあと中央公民館で、退職団員に対する感謝状と賞状、永年勤続者の表彰がおこなわれました。

ついで、[illegible]田町長、河野副議長室蘭警察署長等来賓の祝辞があり、これに対して秋吉消防団長より答辞が述べられ、新年の出ぞめ式を閉じました。

表彰されたかたは次のとおりです。

◆退職団員に対する町長感謝状
光田員、鈴木勝雄（以上登別）飯島武、佐々木秀雄、鈴木栄寿、上田弘（以上登別温泉）、三井茂小山岸守男、花咲満、細川剛、鹿野善勝（以上鷲別）、佐々木外喜男、斉貞重、小武海浅吉、川上宗春、川村正勝（以上来馬）

◆退職団員に対する消防庁長官賞状　沢其太郎、岩井勲、的山誠（以上登別温泉）、伊藤好美（鷲別）、中村平八（富浦）

◆永年勤続者に対する知事表彰
〇十年勤続　牧口治紀（登別温泉）、山川剛（鷲別）、木村幸一、敦賀喜代勝（以上来馬）、榎本哲（富浦）
〇二十年勤続　畠山文男（幌別）、野間茂政、確井勇（以上登別）、日野昇二（登別温泉）、野呂恭次郎、村松政一（以上来馬）

◆永年勤続者に対する北海道消防協会長表彰
〇十年勤続　中田幹雄、制野勇夫（以上消防署）、八重樫昭二（幌別）、泉一夫（登別温泉）、木村幸一、敦賀喜代勝（以上来馬）
〇二十年勤続　中村正信、伊藤福次郎、鹿野明（以上鷲別）、長尾六郎、野呂恭次郎、村松政一（以上来馬）

税の申告は各相談会場で

申告期日は三月十五日まで

今年も二月十六日から所得税の確定申告と町道民税、事業税の申告がはじまります。所得税の確定申告をすると町道民税、事業税の申告をしなくてもよいことになっています。

所得税の確定申告および町道民税の申告は、個人が昨年一年間の所得やそれに対する税額を自分で計算して、三月十五日までに申告して納税するものです。

当町の申告相談は次のとおりおこないますので、お届けした申告用紙で申告してください。

相談会場

月	日	場所	相談する税
二	二十四	温泉支所	町道民税、事業税、所得税
二	二十五〜二十七	中央公民館 鷲別支所	〃
三	三〜四	富浦保育所	町道民税
三	六	ひまわり園	〃
三	七	登別支所	〃
三	十〜十五	役場税務課	〃

この相談会場で申告しませんと税務署まで足を運ばなければなりませんし、また期限におくれますと損失の繰越しや、繰戻しが認められなくなり、無申告加算税を加算されることがありますのでご留意ください。

なお、確定申告書の主な添付書は、次のとおりですので早目に準備しておいてください。

◇雑損控除を受けようとする人はその損失額および保険金などによって補てんされた金額についての明細書。◇医療費控除を受けようとする人は医療機関の領収証書。◇生命保険料控除を受けようとする人は一年間で一契約について支払った保険料の金額が九千円をこえるものについては、その保険料の金額および保険契約者の氏名などを証明する書類。◇損害保険料控除を受けようとする人は損害保険料の金額や保険契約者の氏名などを証明する書類。◇給与所得および退職所得について所得税を源泉徴収された人は、徴収義務者から交付される源泉徴収票。◇そのほか寄付控除、勤労学生控除などの所定の控除を受けようとするときは、それぞれの証明書類。

所得税の納期は三月十五日

所得税の納期は、申告[illegible]と同じ三月十五日までですから忘れず納めてください。なお一度に納税することができない人は、延納する方法がありますので、確定申告のときにご相談ください。

また、確定申告をして税金の還付を受けられる人は、二月十六日以前でも確定申告を受付しておりますので、早目に申告して支払いを受けてください。

課税台帳の縦覧を

三月一日から三月二十日まで固定資産台帳を縦覧しますので、資産のある人はかならず縦覧しましょう。

縦覧時間

平日　八時三十分から五時まで

土曜日八時三十分から正午まで

（日曜、祭日を除く）

縦覧場所

役場税務課資産税係

保育所入所児を募集

町立保育所（富士、本町、鷲別上鷲別、富浦、登別）の入所幼児を二月十七日から三月五日まで募集します。入所ご希望のかたは次の場所に申込みください。

入所できる幼児は次に該当するかたです。

◇母親のいない家庭の幼児

◇母親が出産の前後であったり病弱で保育できない家庭の幼児。

◇母親が家庭の外で仕事をしたりまた、家庭内でも病人がいたり仕事におわれて保育できない家庭の幼児

◇以上のいずれかに該当し満三才以上学令未満の健康な幼児。

申込み場所（　）内は募集人員

役場住民課社会係申込み

富士保育所（四二名）

本町保育所（二七名）

鷲別支所申込み

鷲別保育所（三一名）

上鷲別保育所（三〇名）

富浦和田宅申込み

富浦保育所（一五名）

登別支所申込み

登別保育所（三九名）

新入学児をもつ家庭へ

新しく小学校に入学するお子さんをもつ家庭では、色々と心づかいをされていることと思います。入学後の生活を楽しく過ごさせるため、今から次のことに心がけましょう。

心と行ないの準備

◇学校は、楽しいところというように感じさせ、よろこんで学校にいけるようにしておきましょう。

◇自分の身のまわりのことは、自分で始末ができるように習慣づけ特に用便、衣服については手助けされなくてもできるようにしておきましょう。

◇交通のきまりを覚えさせ、ひとりで安全に通学できるよう教えておきましょう。

からだの準備

◇就学前の健康診断は必らず受けさせ、異常があれば早く治療をしましょう。

学用品の準備

◇子どものためには、丈夫で実用的な使いやすいものを最小限に準備し、その他は入学後、先生の指示にしたがって整えましょう。

受験料は定額小為替で

二月は入学願書提出の月ですがそのときに必要なのが受験料の払い込みです。

郵便局で受験料を送る方法には定額小為替、普通為替、現金書留などありますが、一番簡単で、送料が安く、安心して送れる便利な方法として、郵便局では「定額小為替」をお進めしております。

定額小為替を送るとき

郵便局の窓口で「定額小為替」といってお金と送料（千円まで十円、二千円まで二十円、三千円まで三十円）を出すと引き替えに小為替の証書をお渡しします。（証書は願書とともに封筒に入れて学校へ送付します）

定額小為替は、受験料、同窓会の会費、寄付、通信販売など百円未満の端数がつかない七千円までの送金のために作られたものです

定額小為替を受取ったとき

証書の受領欄に本人の住所、氏名を書き、印を押して近くの郵便局に出すと現金を受取れます。

お知らせ

選挙人名簿の登録申し出は三月一日まで

町選挙管理委員会では、本年三月一日現在で選挙人名簿を調整します。ことし、新しく永久選挙人名簿に登録されるかたは、次のかたですので、三月一日までに選挙管理委員会（役場三階）または、役場各支所に忘れず登録の申請をしましょう。

◇昭和四十三年十二月二日から昭和四十四年三月一日までの間に満二十才に達するかた（昭和二十三年十二月三日から昭和二十四年三月二日までの間に出生）

◇昭和四十四年三月一日で引続き三ヶ月以上居住しているかた（昭和四十三年九月二日から昭和四十三年十二月一日までの間に、他市町村から転入し居住しているかた

◇昭和四十三年九月一日までに登別町に居住し、かつ昭和二十三年十二月二日までに出生したかたで、昨年十二月調整の選挙人名簿に登録されていないかた。

三投票所ふえる

町内の投票所は十七ヶ所でありましたが、地域の人口増などから三ヶ所増やし二十投票所となりました。次回の選挙より投票所の変った地域がありますのでご注意ください。

地　域	新投票所	旧投票所
来馬1～28．70～79	富士保育所	中央公民館
鷲別1～23．74～128（鷲別川以西）	室蘭文化幼稚園	鷲別保育所
来馬51～66．155～177．180～202 川上265．304	幌別西小学校	富士保育所
来馬273．277．290以上 千才134	青少年会館	中央公民館

電気子メーターの検定が必要です。

検定の合理化や消費者保護などを目的とした新計量法が、昨年から実施されています。

この新計量法では、アパート、貸し間、寮、貸しビル等で使用している電気メーター（これらの内部で電気料金配分のため使用している子メーター）にも、この法律が適用され、検定のない計器は、使用ができなくなりました。

このため、現在取り付けてある子メーターで、検定のないものは六月までに全部検定証印のあるメーターと取り替えなければ使用できなくなりました。

未検定のものを使用すると、規則で罰せられることがありますので、ご注意ください。

なお、検定のためのメーター取り替え工事やその他詳しいことは近くの電気工事店か北海道電力㈱登別温泉営業所（④二〇六七）、登別営業所（三三三）、幌別電業所（二〇六八）へお問合せください。

自衛官募集

二等陸海空士の募集をおこなっています。

満十八才以上二十五才未満で中学校卒業程度以上の学力のあるかたであれば応募できます。

受付は常時受付しておりますので、詳しいことは役場住民課（幌別二一一一）または室蘭募集事務所（室蘭②八七三一）にお問い合せください。

"しいたけ"の種駒を斡旋

町では、しいたけの種駒の予約申込みを受付けております。

ご希望の方は、二月二十五日までに役場産業課に申込みください。

みなさんのご協力に感謝します
才末たすけあい募金結果

昨年十二月一日より二十日までおこなわれた「才末たすけあい募金運動」には、みなさんの温いご協力によって総額七十九万八千九百二円のご寄付がありました。

よせられた温い善意は次のとおり見舞金として配分し、楽しい正月を送っていただきました。

また、残金については生活に困る家庭で、四月に入学、進学する児童・生徒を対象に学用品等を贈ることになりましたのでご報告し厚くお礼申しあげます。

才末たすけあい募金結果

第一滝本館五万円、鷲別民謡会二万三千七百六[illegible]円、町議会議員二万三千円、役場自治振興会二万四千二十八円、自衛隊幌別駐屯部隊一万二千円、幌別服装学院一万一千四百四十円、友愛青年同志会一万円、上田商会社和会七千六百七十八円、楽団小原秀明五千二百六十一円、アサヒビール友の会五千円、幌別寅年会五千円、橋本通運栄光寮三千百四十二円、ホテル万世閣三千円、カトリック幌別教会三千円、勝間一郎三千円、東条佐一三千円、谷口昌子三千円、上田商会洋明寮二千七百五十五円、丸山武男二千七百四十七円、鹿内クリーニング店千五百円、[illegible]脇クリーニング店千[illegible]、渡辺クリーニング店千百円、富浦ひまわり青年会千円、長谷川善次千円、大平自工千円、宮川朝司千円、上田商事千円、各町内会外五十九万九千百九十一円。

見舞金支給内容

被保護世帯　百八十世帯
四百八十名　四十四万四千円
保護申請世帯　十一世帯
二十六名　一万三百円
要保護世帯　七十八世帯
二百七十一名　八万一千七百円
長期入院患者
百二十一名　十万四千八百円
施設入居者
二十四名　三万六千円
計　六十七万六千八百円
残金　十二万二千百二円

（町社会福祉協議会[illegible]
町共同募金委員会）

美挙

愛情銀行へ

宮武清一（登別）五〇、〇〇〇円
匿名　三件　一、八〇〇円
コーヒーパールイ　二、五四五円
植村靴店（鷲別）長靴外三〇足
老人クラブ鷲楽会
古切手五三〇枚、雑布一一七枚
佐藤栄治（温泉）運動具五点
阿部勝栄（登別）書籍一〇冊
渋谷隆道（温泉）古切手四〇〇枚
美野田亨子（来馬）
古切手　六、〇〇〇枚
中島薬房（鷲別）古切手三〇〇枚
オロフレ荘　古切手二、四五〇枚
村上綾子（登別）五〇、〇〇〇円
室蘭[illegible]育英会へ
一〇〇、〇〇〇円

町の人口
（一月末現在）

男　二二、三一六人（二六増）
女　二一、六七二人（　三増）
計　四三、九八八人（二九増）
世帯数　一一、七一二世帯（一〇増）